

ドイツが大変なことになっている!!

～ “made in Germany” は何処へ?～

1. 可視化するドイツの没落、脱原発・脱石炭…、その次は脱産業?
 - 何もしないのに勝手に橋が落ちた!
 - 鉄道は遅延と運休、郵便はいつ届くかわからない
 - インターネットの平均速度、世界で 55 位 (24 年調べ)、モバイル回線も穴だらけ
 - 勤労意欲の減退→働けるのに社会保障にぶら下がっている人たち 400 万人!
 - 学力の低下→小学 4 年生の 4 人に 1 人は満足に字が読めない
2. 終わらない難民問題と急速な治安の悪化
 - 2024 年の犯罪統計によると、暴力犯罪は 217,277 件で、約 600 件/日
 - ナイフによる傷害・殺人は 15,741 件 (前年比 10.8%) で、約 43 件/日
 - 非ドイツ人の容疑者が急増、特に若年者
 - 婦女暴行・性犯罪は前年比 9.3% 増
 - ドイツは安全ではなくなった、多くのヨーロッパの町も
3. メルツ首相とは何者か?
 - 公約を次々に破る首相と、何も言わないメディア
 - 「防火壁」で AfD を締め出し、自分で墓穴を掘る
 - 政府の別働隊、NGO が支配する “気候保護政策”
 - 異常な言論統制と全体主義化するドイツ
4. ドイツ政府のエネルギー政策
 - 電源は 3 種類→①太陽・風・水など、②石炭・ガス・油、③原子力
 - ③はすでに廃止済み、②も 45 年までに廃止→CO2 排出を±0 にするのが目標
 - 現在 3 万本ある風車を 10 万本に、300 万枚の太陽光パネルは各家庭にまで拡大
 - 再エネ 100% 実現までの繋ぎとして 50 基のガス発電所を建設→ガスはどこから?
 - ドイツを水素、アンモニアなど未来のエネルギーのパイオニアに→どうやって?
 - 再エネ 100% で産業が発展、豊かなドイツの実現→夢
 - 再エネ、ガス、水素、あらゆるところに補助金をばら撒く
 - 将来の電気需要は供給に合わせるべし→産業革命以前に立ち戻る?
 - 国民は原発の必要性に気付いたが、時、すでに遅し

5. 産業国の最重要前提「安価で安定した電気供給」を壊したドイツ
- 電気代の高騰で、電気消費の多い基幹産業が国外へ脱出
 - 2024年の倒産22,000件、失業・国外移転…景気悪化がブラックアウトを防ぐ?
 - 余る再エネ、足りない再エネ、処理はどちらも隣国頼り→隣国の電気代も高騰
 - 再エネ発電停止要請でも保証は支払われる＝通称・ファントム(幽霊)電気
 - 調整電源(年間200億ユーロに)、二重投資など真の実態は国民に知らされず
 - 風車の補助金に群がる投資家→ただし、風車はできても送電線がない
 - 投資家の儲けも再エネのコストも、国民が税金で負担
 - 将来はスマートメーターで需要と供給の強制的な調整か→電気は配給制に?
6. **日本はこうなってはいけない!** “Made in Japan”のクオリティ保持に何が必要か?
- 電気さえ安ければ、日本は産業立地としての最高の条件を発揮できる
 - 原発再稼働を急ぐ
 - ロシアのガスを調達
 - IGCC(火力石炭ガス化複合発電プラント)という珠玉の技術を葬らない
 - 太陽光パネルも風車も補助金を止める
 - 外国との送電線の連携がない日本は、電気を作り過ぎると誰も助けてくれない
 - ドイツは本当に困れば自国の褐炭を活用するかもしれない→日本には何も無い
 - SDGsでお金の流れを歪にはいけない→いったい何が「持続可能」なのか?
 - 再エネによる環境破壊と予期される将来の廃棄物問題はすでに始まっている
 - 国力が落ちては、自国民も他国民も助けられない
 - 安全保障のためにはエネルギーの確保が最重要課題

Make Japan great again!

ご清聴、ありがとうございました。

川口マーン恵美

『住んでみたドイツ・8勝2敗で日本の勝ち』(講談社+α新書)、『ドレスデン逍遙』(草思社)、『メルケル 仮面の裏側』(PHP新書)、『そしてドイツは理想を見失った』(角川新書)、『ドイツの失敗に学べ』(WAC)など多数。

『ドイツの脱原発がよくわかる本』(草思社)は第36回エネルギーフォーラム賞の普及啓発賞を、『復興の日本人論 誰も書かなかった福島』(グッドブックス)は第38回の同賞特別賞を受賞。

最新著は『移民難民 ドイツからの警鐘』(グッドブックス)、共著『原子力はいらない? いらぬ? 原発大国フランスと脱原発ドイツ』(ワニブックス)。